

## 「月の輪酒造店」の訪問に思う

新 12 回生 佐藤忠男

心が洗われる感動的な体験は、そうできるものではありません。北東北の地も冷気で覆われ始めた令和 5 年の 11 月 13 日、同窓生の横沢大造氏（新 13 回生）が会長を務める明治 19 年創業の酒造会社「月の輪酒造店」を訪れ、久々に心が洗われる体験をしました。工場内の設備は整然と且つ合理的に配置され、そこから酒造りへの揺るがない心意気、さらには風格というものが伝わってきたのです。

私はしばし時を忘れ、立ち尽くすような感動に包まれてしまいました。このことを皆様に伝えたくペンを取りました。同窓生間の絆に基づく私の体験にお付き合いいただければ幸いです。

この日は丁度、盛岡市で石桜同窓会の理事会が開かれ、その会合への出席を利用し、前同窓会長の小枝指博さん（新 9 回生）、前会長の弟の小枝指実さん（新 15 回生）の 3 人で同社を訪問しました。この訪問に至った経緯は 10 月 7 日に東京・上野の精養軒で開かれた東京石桜同窓会の総会・懇親会での出来事にさかのぼります。同会合は東京石桜同窓会の創設 40 周年を祝うことも兼ねており、それを記念し 40 周年記念ラベルを添付した月の輪酒造店特製の日本酒を参加者に配布したのです。こうした経緯もあり、東京石桜同窓会の前関邦明会長（新 23 回生）からは事前に、同社の横沢会長も招待する旨の話は聞いておりました。たまたま私は同窓会合の前日に東京・銀座にある県産品を販売するアンテナショップ「いわて銀河プラザ」に所用で立ち寄り、その際、月の輪さんのお酒が 4-5 段もある各棚に並べてあるのを偶然目にしました。故郷のお酒にあまり詳しくない私は「へーっ、そんなに人気があるお酒なんだ」というのが正直な印象でした。

さて、同窓会の当日のことです。私の席の隣に座られたのは、その月の輪酒造店の横沢会長だったのです。そこでは話が大いに弾み、後日、ぜひ弊社をお訪ね下さいと記された心温まる手紙をいただき、まもなくして訪問を実現させたということです。

訪問当日はあいにく、横沢会長が東京出張だったために長女で代表取締役常務の横沢裕子（ひろこ）さんと会長の奥様が私たち 3 人を出迎えてくれ、工場内を丁寧に案内するとともに経営方針などを説明してくれました。冒頭説明しましたように工場内は整理整頓がきちんとされ、酒造りへの信念が伝わってきました。

横沢会長から事前にいただいた手紙には「当社は『企業』としてではなく『家業』として酒造店を営んでおります」との説明がしてありました。家業とはどういうことなのでしょう。熟考して私なりに推察した結論は、企業であれば栄枯盛衰の波に襲われてしまうけれど、家業としてなら一日一日を命がけで経営にあたろうという気持ちを持続でき、それを力に事業を永続させようという思いなのではないかということでした。

訪問当日もそんな経営方針の説明があり、さらに実際に工場内を見学して、すべてに繊細

で細心の心配りがされているのを目の当たりにし、私の推察は確信に変わっていきました。

著名な経営コンサルタントで企業家の故船井幸雄氏は「企業経営には一分の隙もあってはならない」と説いております。82歳を迎えた私も企業経営に携わった一人として、まさに一分の隙のなさを実感したしだいです。

古くから伝わる醸造の世界は、男中心の世界でもあります。しかし、そうした常識を排して女性の感性も取り入れ、それを軸に据えることで次代を切り開こうという、これからの企業の手本のようなものも併せて感じ取りました。こうした一連の判断には横沢会長の先を見据えた大局観というものをうかがい知ることができます。

実はかつて新潟県や長野県の醸造所をいくつか見学したことがありますが、今回ほどの強い印象は残っておりません。また、私が生まれ育った石鳥谷町は紫波町の隣にあり、小さな町ながら杜氏の町として知られています。このため夏休みには小学校で杜氏が集まっての講習会が開かれ、地元の醸造所がつくる銘柄も「稲の友」「宝峰」「七福神」「南部関」の4つが存在していました。しかし、残念なことに堅実経営をされていた「南部関」（川村酒造店）さんだけが生き残り、他は消え去ってしまいました。こうした栄枯盛衰の現実を知るだけに、月の輪酒造店の経営手法には、よけいに興味を抱いていたということでもあります。

個人的には、明治時代から長きにわたり存続し続ける同社のノウハウを地域の活性化のために活用できないものかと思案もしました。仕事に影響を及ぼさない範囲での工場見学ツアーや工場開放イベントの開催などは有益ではないかと思うのです。

このように色々なことを考え、貴重な一日を過ごし、清々しい気持ちで晩秋の盛岡を後にしました。石桜同窓会の会員の皆様も全国にじわじわとファンが広がる地域の銘品「月の輪」にぜひ目を向けていただければと思います。